

I 経営方針

『こ』どもまんなかの
『す』てきな環境で
『も』っと一緒に
『す』ごしたくなる 園を目指して

1. 「子どもの権利条約」の4つの柱

- ・ 生命、生存および発達に対する権利（命を守られ成長できること）
- ・ 子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること）
- ・ 子どもの最善の利益（子どもにとって最もよいこと）
- ・ 差別の禁止（差別のないこと）

を尊重し、すべての子どもの人権を第一に考えた『こどもまんなか』の教育・保育を積み重ねていきます。

2. 子ども主体の教育・保育

子ども主体の教育・保育と保護者のサポートに職員が力を発揮できるように、研修や働き方改革を進めていきます。

重点事項

1. 魅力ある認定こども園づくりと円滑な事業推進

認定こども園としての良さを十分に発揮させ、子どもたちや保護者にも魅力を感じることができるよう、様々な教育・保育内容を充実させていきます。

2. 安全な教育・保育環境づくり

子どもたちが生活する場において、安全点検を確実にを行い、怪我等には十分気を付け、生命と安全を確保することを第一に、日々の教育・保育を行います。

3. 職員の資質の向上

1～2の事項を推進すべく、PDCAのフレームワークや研修等で、専門知識と資質の向上に努めていきます。

II 事業計画についての報告

1. 魅力ある認定こども園づくりについて

（1）乳児保育

乳児期は、人間形成の基礎になることを認識し、家庭的な雰囲気を保ち、乳児が笑顔で一日を過ごすことができるように、保護者と連携しながら子育てを行います。

➡ 0歳児においては保護者からも感謝される保育ができたが、1歳児においては、保護者からの苦言もあり、担任には面談で指導。

職員へは保護者との信頼関係のできていない状態で、担任を飛び越えての話はしない事を周知。

(2) 幼児教育・保育

就学に向けての架け橋プログラムを基に、園独自の年齢別カリキュラムと個別の経過記録で、個々の成長を丁寧に進め、家庭や小学校との連携を図るとともに、地域の子育て支援の拠点として、特色ある園づくりをめざします。

➡ 就学児のカリキュラムの実施において、担任の不得意分野が計画的に実施できず、子どもたちに負担をかけた。

今後は定期的に確認していき、スムーズな実施ができるよう努める。

(3) 教育機能の充実

外部より専門講師を招き、体操教室・ダンス教室・英語教室・木育教室など、子どもたちが楽しんで学べるよう、認定こども園としての教育機能を充実させていきます。また、文化面、運動面の特色を強化していきます。

➡ 今年度初めての試みで、県と町にも木育活動に参加してもらったが、打合せと反省の時間調整などに苦戦。8年度は吟味中。

(4) 延長保育及び特別保育

保護者の就労形態や事情に合わせ、それぞれ認定された保育時間を超え、延長保育を行います。年末も特別保育をすることにより、仕事と育児の両立支援をすすめます。

➡ 延長保育においては、1号認定が前年度比で104.9% 2・3号認定が139.5%と増加しているが、正職の退職もあり、非常に厳しい状況。

(5) 保護者の苦情及び意見への対応

苦情受付のシステムを機能させながら、誠実にかつ迅速に対応し、保護者との信頼関係を築いていきます。また、小さな意見にも素早く柔軟に対応し、できるだけ苦情が出ないように、職員一人一人が自覚し、日々の教育保育や保護者との対応に当たるよう努めます。年2回の第三者委員会を開いて報告していきます。

➡ 苦情については、念書案件、送り時の話しかけ案件、新入園児保護者に対する対応案件の3件。内、保護者対応2件が同一職員の為、保育者の発する言葉は園からの言葉であることを自覚するよう指導。

(6) 一時預かり事業・誰でも通園制度

保護者の育児疲れを含め、園児以外で緊急に保育が必要になった家庭や入園前の慣らし保育を始め、誰でも通園制度の受け入れ等、一時的な保育を行います。生活環境が変わるため、子どもや親の不安を取り除き、また保護者も安心して預けられる環境作りに努めます。

- ➡ 一時預かり事業においては、前年度比231.6%と0歳児担任の対応の成果が出た模様。転園してきた園児の保護者より、好評価の感想を園外で耳にした。

(7) すこやか学童保育事業

春・夏・冬休みに小学3年生以下の児童の学童保育を行います。こども園内において、学習や適切な遊び生活の場を与えて、児童の健全な育成を図り、保護者が安心して働くことができる環境作りをします。

- ➡ 学童保育においては、前年度比79.8%と低いが、夏休みは職員がコロナ感染、冬休みは職員がインフルエンザ感染で、受け入れができず。

(8) 地域子育て支援事業

地域の子育て支援の拠点として、入園していない親子を対象に定期的に遊びや季節の親子製作を提供できる「子育て教室」を開催し、仲間作りや子育て相談、情報提供などを行います。

- ➡ 令和6年度に1人、令和8年度に1人入園の実績。今年度入園予定があと1人。

(9) 情報の公開

ホームページで活動や行事の様子を公開し、クラスだより・給食だより・保健だよりや次月スケジュールを掲載することで、情報の公開と提供に努めます。また、報道機関への通知を行い、園の取組を周知していきます。

- ➡ 園見学の希望者は「HPを見て」の声が多いので、続ける。

保護者においても、月次スケジュールをHPで確認されており、アップが遅れると、催促もある。

(10) 自由参観

保護者に、いつでもクラスに入っていただき、教育・保育を参観できるようにすることで、教育・保育に関心をもってもらいます。

- ➡ 新入園児の保護者には喜ばれている。不適切保育を見逃さないための環境にもなるので、継続する。

(11) 小学校連携

認定こども園の特色を生かし、町内の小学校と情報交換や参観、交流会を行い、無理なく就学につながるようにします。また、卒園児や支援の必要な子どもに対する情報交換も行います。

- ➡ 小学校との連携は、1年生の授業に参加したり、情報交換も年3回～4回と定着してきた。7年度は、カリキュラムへ入れて欲しい内容も討議でき、8年度のカリキュラム編成に繋がった。

2. 安全な教育・保育環境づくりについて

(1) 看護師の配置

乳児室に看護師を配置し、全クラスの保健対応はもちろん、乳児のきめ細やかな保育を行います。

➡ 看護師配置のメリットを有効活用できていない部分（発熱児の保育）もあったので、改善が必要。

8年度から、感染症の告知と集計を看護師が行うよう改善。

(2) 医療機関等との連携

看護師、学校薬剤師、嘱託医と連携し、子ども一人一人の健康管理や環境管理に努めます。

➡ 今後も継続。

(3) 保育環境の整備

子どもの生命と安全の確保のため、日常的に点検を行い、危険のない快適な保育環境の整備とともに、年齢や発達に応じた安全指導を実施し、事故防止に努めます。

➡ 大型遊具の修理か購入かの判断が遅れ、子どもたちへの使用を禁止する期間が長くかかった。今回、専門業者へ点検を依頼すると、他の遊具にも不具合があり、数年前の落下事故等防ぐことができたかもしれないことを深く反省した。

(4) 防災体制の充実

定期的に避難訓練（月1回）、防災訓練（年2回）、不審者対応訓練（年4回）、災害時の降園訓練（年1回）を行い、防災体制の充実に努めます。

➡ 災害時一斉迎いの訓練を始めたが、3次避難場所への移動を始め、想定幅を広げた訓練の実施を展開する必要がある。

(5) 警察署と交通安全協会との連携

警察署や交通安全協会と連携し、防犯訓練を行ったり、交通安全指導を行い、園児にも安全に対する意識付けを行うなど、事故防止に努めます。

➡ 不審者対応訓練で、警察署からの指摘を改善できるようにする。

(6) 給食室の衛生管理

食品の適正な管理や害虫駆除、室内外の消毒や職員の菌検査の実施等によって、食中毒や感染症を未然に予防します。子どもたちにも手洗い、うがいを指導し徹底させます。

➡ 給食嘱託の職員の清掃の仕方が完璧なので、8年度はリーダーの任命をし、取り組んでもらう。

(7) 安全な給食の提供

安全で安心できる食材による給食の提供を行い、また、その日の給食を写真で掲示することにより、保護者も子どもと共に食事に関する興味や関心がもてるようにします。

➡ 7年度は食材とお菓子の賞味期限切れが1回ずつあったので、定期的に確認し、安全と無駄を省くようにする。

3. 職員の資質の向上について

(1) 自己評価と人事考課

教育・保育の振り返りを自己評価で行い、上司による二次評価（人事考課）をもとに、個人面談を行うことで、職員としての資質向上を図ります。

➡ 7年度は、自己評価表と人事考課表を配布してから、担当の仕事をあわてて始める姿があったので、面談を2回にし、途中で進行状況を確認する事の必要性が分かったので、改善する。

(2) 専門性の向上

保育の課題や見直しについて、園内研修等を通して研究を深めるとともに、各職種（保育教諭、看護師、調理員等）に応じた研修計画により、専門性の向上に努めます。

➡ 研修を受けても、現場で生かせていないことが多いので、処遇の評価に落とし込んで、向上を目指せるようにしていく。

(3) 教育・保育の確認

経営方針でもある子どもの権利条約（4つの柱）を基に、教育・保育の計画と実施ができているか、上司による確認を行っていきます。

➡ 保育の様子を見て、その場で指導ができるようにしていくためにも職員を確保し、管理者が見守る環境作りが急務である。

(4) 職場環境の見直し

子どもとの関わり方で、疑問に思うことは、職員同士で話ができる環境であるべく、意見を言いやすい職場環境を整えます。

➡ 客観的に自分のことを把握することは難しいので、常に伝え合う雰囲気を作りたいが、なかなか苦戦している。

(5) 働き方改革

改善改革に意識を持ち、職員の働き方改革を進めます。

➡ ノンコンタクトタイムを6月から始めたが、1人で担任をしている職員の取得が難しいところがあるので、改善策を練る必要がある。

令和7年度 国富こすもす保育園 事業報告(詳細)

1. 令和7年度の改善改革への取組

令和7年度 事業報告書のとおり

2. 事業内容の詳細

(1) 保育利用可能人数(1号15名 2号19名 3号21名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	2	2	2	2	2	2	3	3	5	6	7	7
1歳児	9	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5
3歳児	12	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12
4歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
5歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
合計	52	55	55	56	56	56	57	56	58	58	59	59
実績比率(%)	94.5%	100.0%	100.0%	101.8%	101.8%	101.8%	103.6%	101.8%	105.5%	105.5%	107.3%	107.3%
前年度	41	44	46	46	46	48	49	52	53	53	53	54
前年度比	126.8%	125.0%	119.6%	121.7%	121.7%	116.7%	116.3%	107.7%	109.4%	109.4%	111.3%	109.3%

要支援児・・・・・・・・16名(内、未満児4名)

訪問支援児・・・・・・・・3名(4歳児2名 3歳児1名)

通所支援・・・・・・・・2名(4歳児1名 3歳児1名)

保健センター・・・・・・・・11名(5歳児3名 4歳児4名 3歳児3名 2歳児1名)

5歳の要支援児2名の内1人は地域校への進学が難しいレベルだったが、保護者は地域校の普通学級希望とのことで、教育委員会と相談し、地域の支援クラスへ

(2) 延長保育人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日	25	24	25	26	25	24	26	23	26	25	22	25	296
前年度	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
1号	257	245	260	250	179	234	228	187	180	226	192	252	2690
前1号	181	198	200	198	155	200	246	238	250	239	215	244	2564
前年比	142.0%	123.7%	130.0%	126.3%	115.5%	117.0%	92.7%	78.6%	72.0%	94.6%	89.3%	103.3%	104.9%
2・3号	8	19	30	24	22	61	71	43	30	33	60	51	452
前23号	20	26	26	34	22	22	30	34	25	24	33	28	324
前年比	40.0%	73.1%	115.4%	70.6%	100.0%	277.3%	236.7%	126.5%	120.0%	137.5%	181.8%	182.1%	139.5%
延人数	265	264	290	274	201	295	299	230	210	259	252	303	3142
前延べ	201	224	226	232	177	222	276	272	275	263	248	272	2888
前年比	131.8%	117.9%	128.3%	118.1%	113.6%	132.9%	108.3%	84.6%	76.4%	98.5%	101.6%	111.4%	108.8%

(3) 特別保育人数

月日	8/13(水)	8/14(木)	8/15(金)	12/28(日)	12/29(月)	12/30(火)	合計
延べ人数	7	6	4		4	1	22
前年度	日曜日	1	3		0	0	4
比率		600.0%	133.3%				550.0%

(4) 一時預かり人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	9	9	10	10	6	44
前年度	9	4	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	19
比率													231.6%

受入担任の配慮（保護者の仕事復帰優先）で、一時預かり人数を増やすことができた

(5) 学童保育

	春休み	夏休み	冬休み	学期末	合計
延べ人数	39	100	11	8	158
前年度	27	145	18	8	198
比率	144.4%	69.0%	61.1%	100.0%	79.8%

夏休みは職員のコロナ感染、冬休みは職員と学童のインフルエンザ感染で減少した

(6) 職員構成

園長	主幹保育教諭	保育教諭（正）	保育教諭（パート）	看護師	調理	事務（パート）
1	2	8	4	1	2*	1

12月に正職1人増 11月に給食パート1人減

*調理の1人は管理栄養士

(7) 職員配置

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
保育必要人数	2	2	1	1	1	1
加配	1	0	1	1	0	0
合計人数	3	2	2	2	1	1

*1歳児の加配は、10月～4名2歳児へ進級させたので、無し

*3歳児の加配は要支援児3名だが、以上児主幹の介助で賄える

(8) 地域交流

6月27日

宮王丸サロンでボーリング

12月19日

インフルエンザ感染児が多く、中止

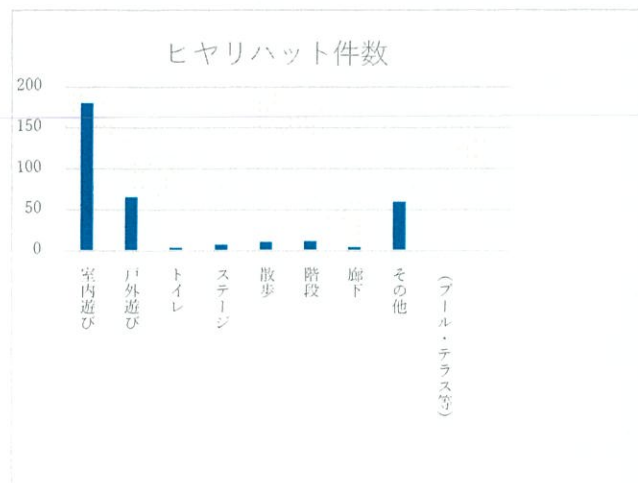
(9) ヒヤリハット

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	25	30	22	28	25	29	30	27	32	33	32	26	339
前年度	30	29	25	26	32	22	24	26	20	20	22	22	298
比率	83.3%	103.4%	88%	107.7%	78.1%	131.8%	125%	103.8%	160%	165%	145.5%	118.2%	113.8%

1、室内遊び（180件）

- ・水をこぼしたままになっていて滑る
- ・ポットのある部屋に入って着替えをした
- ・歯ブラシ乾燥機を触った
- ・人数確認不足
- ・柵の指はさみ
- ・赤い椅子に立つ
- ・ベビーベットのねじを回してとる
- ・ブロックの破損
- ・子どもが寝ていたが毛布がベビーベットにかかっていた
- ・玩具の取り合いで、押し合いになる
- ・玩具を口に入れる
- ・水筒を飲んだ後、箱に投げ入れた

など



2、戸外（65件）

- ・倉庫に一齐に子どもたちが向かい、転倒する
- ・職員が子どもから目が離れている時があった
- ・泥山近くの掲示板の下で頭を打つ

など

3、階段（11件）

- ・一段とばしで降りる
- ・段差を踏み外す
- ・ジャンプして降りる
- ・ふざけて友だちの背中を押す

など

4、散歩（10件）

- ・他児を押す
- ・靴があていない
- ・一人が転び、転んだ子につまずき転倒

など

5、ステージ（7件）

- ・走って落ちそうになる
- ・ステージのカーテンを触り、裏にあった台につまずく

など

6、廊下（4件）

- ・走る
- ・ポケットに手を入れる
- ・後ろ向きで歩く

など

7、トイレ（3件）

- ・トイレで失敗し、そのままの状態
- ・トイレに職員がついていない時があった

など

8、その他（59件）

- ・賞味期限切れのマヨネーズを提供しそうになった
- ・離乳食の提供の仕方の共通理解ができていなかった
- ・1人で送迎門を開けようとする
- ・プール活動中滑る、ふちをとび越える、口に入れ飲もうとする

など

改善した点

- ・夕方の戸外遊びでは、クラスごとに玩具を取りに行くようにした。
- ・ポットのある部屋、歯ブラシ乾燥機のある部屋は、保育者が出入りするたび、鍵をかける。
- ・賞味期限をこまめに確認するようにした。（給食室）
- ・泥山の掲示板の撤去（R8年度4月実施）
- ・送迎門の鍵を子どもが開け閉めできないようにする（工務店依頼済み）

(10) 保育内容等（誕生会参観等月次以外の行事のみ記載）

太字は新しい取り組み

月	行事内容	保健等
毎月	・誕生会参観・避難訓練・職員会・給食検討会・施設長会 ・英語教室・元気っ子クラブ・ダンス教室・訪問支援	・体位測定
4 月	1日 入園・進級式 18日 第三者評価 20日 親子遠足（法華嶽公園） 26日 木育園外活動（4歳児）	18日 バルブ水漏れ修理（長嶺）
5 月	13日 ネイチャーゲーム（5歳児） 22日 内部監査 23日 お弁当の日 木育（5歳児） 木育（5歳児） 28日 チリンとドロン（5歳児） 〃 町育成会議	15日 給食室レイアウト協議 16日 内科健診 20日 芝刈り（シルバー人材） 22日 内科健診 24日 消火器入替 27日 バルブ水漏れ修理（長嶺） 28日 害虫駆除（給食室）
6 月	6日 しながくどう活動見学 16日 社会見学実地調査 18日 本庄小学校給食見学 19日 北俣こども園見学 20日 食育（5歳児） 木育（5歳児） 26日 本庄高校職場体験打合せ 27日 いきいきサロン（以上児）	3日 尿・糞虫検査 4日 歯科健診 14日 ホシザキ食洗器レイアウト 17日 環境調査 21日 エアコン掃除（業者） 22日 21日 害虫駆除（給食室） 23日 害虫駆除（給食室） 〃 ホシザキ打合せ 28日 天窓掃除（業者）
7 月	1日 プール開き 〃 育成挨拶運動 3日 本庄高校職場体験（4歳児） 4日 本庄高校職場体験（5歳児） 〃 本庄中職場体験 面談 9日 本庄中職場体験 食育（2歳児） 運動会打合せ テント立て 10日 本庄中職場体験 11日 水フェス（みやざき犬） ヤクルト講座打合せ 14日 食育：年長 15日 給食部会 17日 本庄高校職場体験（3歳児） 台風被害机上調査 森育打合せ 23日 食育（2歳児） 木脇小連絡会 29日 園訪問（3歳児） 本庄小連絡会	1日 給食室エアコン修理 2日 ホシザキレイアウト 3日 ホシザキ点検 4日 110番点検 17日 害虫苦情（給食室） 30日 プール水検査 31日 ホシザキシンク取替

月	行事内容	保健等
8月 8月	1日 よいまか 6日 実習生打合せ 7日 子育て教室 8日 見学 ヤクルト講座 未満児会 9日 セコムカメラ取付 12日 食育（3歳児・4歳児・5歳児） 18日 実習生受け入れ（国際大学4年生）29日迄 22日 年長児 社会見学打合せ 27日 森永小学校職員連絡会 29日 子育て支援	
9月	1日 育成挨拶運動 4～5日 デュアルシステム研修（本庄高校） 12日 杉の子会（保育士会） 16日 森育打合せ 18日 運動会打合せ 22日 支援施設見学 26日 発表会係会議 さくら組へたんぼぼ4名進級引継ぎ 29日 お楽しみ社会見学（5歳児） 30日 視聴覚検査打ち合わせ（5歳児）	5日 砂場清掃 17日 総合避難訓練 24日 害虫駆除（給食室） 26日 AED交換
10月	1日 入場門組立 7日 体育館練習 9日 運動会予行練習 14日 森育実地調査 15日 町民祭作品搬入 16日 体育館練習 17日 運動会予行練習 22日 シュシュ（支援施設）送迎確認 25日 運動会 27日 森育：材料集め（3歳4歳5歳） 28日 町民祭作品搬出 遠足実地調査（未満児） 29日 森育：材料煮沸（3歳4歳5歳） 30日 遠足実地調査（以上児） 31日 杉の子会研修	1日 視聴覚検査 給食室環境検査 3日 シルバー人材現地打合せ 10日 冷蔵庫点検 15日 110番点検 21日 消防点検 23日 園庭草刈り
11月	4日 訪問支援（2歳児） 5日 カンファレンス（4歳） 8日 入園説明（0歳児） 10日 森育：リース作り（3歳4歳5歳） 11日 子育て教室 12日 園内研修（木育） 13日 DX研修参加（濱） 18日 面談（4歳児） 19日 職場体験（木脇中） 5歳児健康相談打合せ	2日 事務室工事に伴う電気工事 4日 事務室工事に伴う清掃業者 6日 内科健診 焼却古紙回収 19日 害虫駆除

月	行事内容	保健等
11月	第三者委員会 20日 面談（4歳児） 見学（0歳児） 21日 発表会予行練習 研修参加（落合） 25日 施設長会（国富町） 面談（4歳児） 26日 職場体験（木脇中） 研修参加（落合・日高） 27日 学研展示会参加（落合・日高） ピアノ調律 28日 小学校連携（本庄小職員と連絡会）	26日 洗浄機点検
12月	1日 挨拶運動（町育成会） 入園説明（0歳児） 3日 チャリティーサンタ打合せ 6日 生活発表会 見学（0歳児） 8日 木育：振り返り 9日 見学（0歳児） 11日 以上児会 12日 チャリティーサンタ 16日 入園説明（0歳児） 18日 園見学（4歳児） 23日 施設長会（国富町） 24日 クリスマス会 園内研修（ヒヤリハットより脱走の危険性について） 26日 もちつき	6日 厨房床掃除 17日 NTT公衆電話撤去工事 19日 室外機取付工事 22日 体育倉庫掃除 23日 トイレレバー修理 26日 防火扉修理
1月	5日 賀詞交歓会→施設長会 7日 挨拶運動（町育成会） 13日 見学（0歳児） 16日 見学（3歳児） 子どもの声を聞く会 21日 防犯訓練（高岡警察署） 22日 施設長会（国富町） 26日 見学（0歳児） 27日 園内研修（体罰によらない子育て） 12月に保護者参加型の研修を予定していたが、インフルエンザ蔓延の為、延期して職員のみで受講） 28日 園外保育（大淀川学習館：5歳児） 木育（3歳児） 29日 木育（4歳児） 見学（2歳児・3歳児・5歳児） 30日 面談（5歳児）	9日 チャイルド社 遊具調査 28日 害虫駆除
	2日 木育打合せ 3日 節分（広報くにとみ取材） 見学（1歳児） 4日 ひな人形飾り 6日 年長園外保育（科学技術館） 9日 木育教室（年長）	2日 給食室エレベーター点検 4日 砂場清掃 5日 グリストラップ点検

月	行事内容	保健等
2 月	14日 入園説明（3歳児） 16日 本庄小学校交流会 森永小学校連絡会 4 歳児通院 17日 子育て教室 20日 ゲーム屋さんごっこ 24日 森育振り返り 26日 4 歳児通院 27日 木育教室（年長）	24日 遊具点検（業者）
3 月	2日 挨拶運動 クラス担任発表 子育て教室 3日 ひなまつり 6日 卒園式予行 9日 5 歳児健康相談結果返し 11日 本庄小学校連絡会 森永小学校連絡会 12日 新年度資料配布（クラス担任紹介） 16日 交通安全教室 卒園式保護者練習（謝辞：山崎様） 17日 子育て教室 入園説明（3 歳児）	4日 戸車交換 9日 ナガタファイテック 11日 長友工務店 12日 面接（古瀬様）
3 月	18日 お別れ会 卒園式保護者練習（記念品贈呈：折田様） 19日 農林振興課より卒園記念品配布（ガーベラ） 21日 卒園式 夜：謝恩会 入園説明（1 歳児・3 歳児） 23日 修了式 入園説明（1 歳児） 24日 入園説明（0歳児） 25日 要支援児担当者会 入園説明（0歳児） 26日 入園説明（0歳児） 見学（3 歳児） 27日 入園説明（0歳児） 要支援児担当者会 30日 退職職員お別れ会	

会議 職員会・・・・・・ 隔週の水曜日（昼休み取得の為）

対策として、クラスごとに週ごとの伝達事項を回覧している

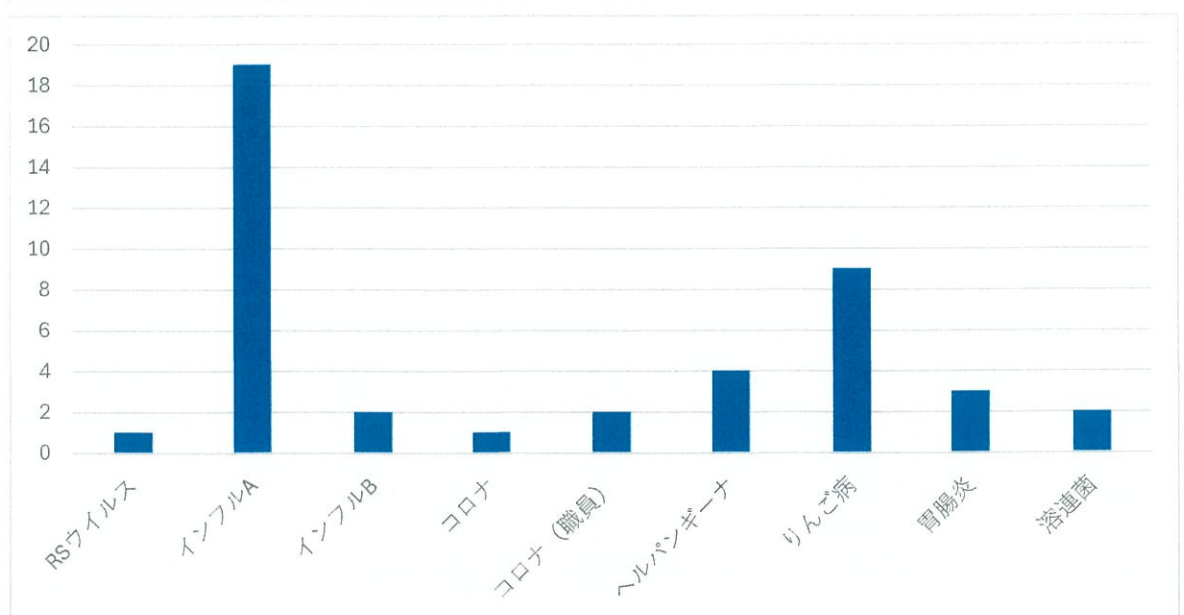
担当者会議・・・・ 行事前に5回～6回（運動会・発表会等）その他行事は2回～3回

以上児会・・・・・・ 月に1回～2回

未満児会・・・・・・ 年に3回～5回

(11) 感染症

4月7日 溶連菌	1人	4月7日 RSウイルス	1人	2人
5月29日 りんご病	1人			1人
6月2日 りんご病	1人	6月18日 りんご病	1人	
6月21日 りんご病	1人	6月30日 りんご病	1人	4人
7月2日 りんご病	1人	7月7日 りんご病	1人	
7月14日 りんご病	1人	7月15日 ヘルパンギーナ	1人	
7月16日 ヘルパンギーナ	3人	7月17日 ヘルパンギーナ	1人	
7月19日 ヘルパンギーナ	1人	7月22日 りんご病	1人	10人
8月10日 コロナ	1人	8月15日 コロナ（職員）	1人	
8月18日 りんご病	1人	8月18日 コロナ（職員）	4人	
8月19日 コロナ（職員）	1人	8月29日 ヘルパンギーナ	1人	9人
9月5日 コロナ（職員）	1人	9月8日 りんご病	2人	
9月16日 りんご病	1人	9月22日 りんご病	1人	
9月25日 りんご病	1人	9月29日 りんご病	1人	7人
10月1日 りんご病	1人	10月6日 りんご病	1人	
10月7日 りんご病	1人	10月7日 コロナ	1人	4人
11月25日 インフルB	2人			1人
12月3日 インフルA	1人	12月4日 インフルA	1人	
12月5日 インフルA	2人	12月9日 インフルA	2人	
12月11日 インフルA	3人	12月12日 インフルA(職員)	2人	
12月13日 インフルA	9人	12月15日 インフルA	9人	
12月16日 インフルA	2人	12月17日 インフルA	1人	
12月18日 インフルA	1人	12月26日 インフルA	1人	
12月30日 インフルA	1人	12月29日 インフルA(職員2)	4人	39人
1月22日 溶連菌	1人			1人
2月2日 胃腸炎	1人	2月12日 胃腸炎	1人	
2月13日 胃腸炎	1人	2月14日 溶連菌	1人	
2月26日 胃腸炎	1人			5人
3月2日 溶連菌	1人			1人



令和 7 年度園内研修

研修月	研修内容	参加職員
4 月	研修発表	落合・日高梨
5 月	前年度ヒヤリハット報告と対策	全職員
6 月	心肺蘇生の仕方について 西部主張所の方へ依頼	全職員
7 月	音楽研修 鍵盤ハーモニカの進め方	竹下・廣川・長友
8 月	木城絵本の郷の方を講師として絵本の紹介	全職員
9 月	子ども主体の保育について 動画鑑賞	全職員
10 月	手遊び研修	全職員
11 月	木育研修（ミノムシ作り）	全職員
12 月	ヒヤリハットの中から一つ抜粋して、職員で検討	全職員
1 月	体罰によらない子育て研修	全職員
2 月	木育研修（しずくちゃん）	全職員
3 月	来年度園内研修で取り組みたいこと	全職員

【感想・反省】

・園児が体験する木育研修では、子どもたちと同じ活動を行うことで、どんなことで子どもたちが困るか、楽しいと感じるかが分かった。

例えば、しずくちゃんでは、削りすぎると形がいびつになってしまうなど・・・

職員が体験をすることで、子どもたちが行う際により共感できることが分かった。

・手遊び研修では、実際に保育で使うものだが、覚えていなかったり、動画を見ながら行う様子もあった。

・今年は、メンタルケアが実施できなかった。体を動かすものを考えていきたい。

令和7年度 研修記録一覧

職員名	研修名	実施機関	研修年月日
落合美香	防火管理者講習会	宮崎防火管理等協議会	R7.5.8～R7.5.9
落合美香	宮崎県災害時福祉支援体制整備事業説明会	宮崎県社会福祉協議会	R7.6.6
長友麻未	防火管理の基礎・救命講習他	宮崎防火管理等協議会	R7.6.12
日高梨花	防火管理の基礎・救命講習他	宮崎防火管理等協議会	R7.6.12
竹下悦世	R7年度おおぞらセミナー 感覚と遊び～幼児期の子どもと関わる上での大切な視点～	宮崎市社会福祉事業団 宮崎市総合発達支援センターおおぞら	R7.6.29
青木優里	R7年度おおぞらセミナー 感覚と遊び～幼児期の子どもと関わる上での大切な視点～	宮崎市社会福祉事業団 宮崎市総合発達支援センターおおぞら	R7.6.29
黒木直子	R7年度おおぞらセミナー 感覚と遊び～幼児期の子どもと関わる上での大切な視点～	宮崎市社会福祉事業団 宮崎市総合発達支援センターおおぞら	R7.6.29
赤澤千三代	評価者育成研修	宮崎県社会福祉協議会	R7.7.18
落合美香	幼児期からの虫歯予防はなぜ重要か	宮崎県中央保健所	R7.7.23
西川瑞季	幼児期からの虫歯予防はなぜ重要か	宮崎県中央保健所	R7.7.23
黒木直子	楽しい！が伝わる！ 先生から始める運動遊び運動会マスゲーム（バルーン）	日本幼少年体育協会	R7.7.27
長友麻未	楽しい！が伝わる！ 先生から始める運動遊び運動会マスゲーム（バルーン）	日本幼少年体育協会	R7.7.27
廣川咲也佳	楽しい！が伝わる！ 先生から始める運動遊び運動会マスゲーム（バルーン）	日本幼少年体育協会	R7.7.27
赤澤千三代	子育て講演会	国富町教育委員会	R7.7.30
日高梨花	子育て講演会	国富町教育委員会	R7.7.30
青木優里	子育て講演会	国富町教育委員会	R7.7.30
廣川咲也佳	子育て講演会	国富町教育委員会	R7.7.30
竹下悦世	子育て講演会	国富町教育委員会	R7.7.30
岡田千鶴子	子育て講演会	国富町教育委員会	R7.7.30
×赤澤千三代	北俣こども園フッ化洗口実施場面見学 職員がコロナ流行で中止	宮崎県中央保健所	R7.8.20
×竹下悦世	北俣こども園フッ化洗口実施場面見学 職員がコロナ流行で中止	宮崎県中央保健所	R7.8.20
×竹下悦世	主幹保育教諭・副主幹保育教諭専門リーダー研修会 職員がコロナ流行で中止	宮崎県認定こども園協会	R7.8.19
×青木優里	発達障害傾向のある子どもへの食事援助 職員がコロナ流行で中止	宮崎県保育連盟連合会・給食支部	R7.8.26
日高梨花	木育進園の活動視察研修	国富町木育ネットワーク部会	R7.8.22
長友麻未	木育進園の活動視察研修	国富町木育ネットワーク部会	R7.8.22
赤澤千三代	処遇改善加算一本化について不適切保育を防ぐには	宮崎県保育連盟連合会	R7.9.5
西川瑞季	キャリアアップ研修「乳児保育」	保育のデザインアドバンス	R7.9.21
長友麻未	キャリアアップ研修「食育・アレルギー対応」	保育のデザインアドバンス	R7.9.24

職員名	研修名	実施機関	研修年月日
竹下悦世	キャリアアップ研修「保護者支援子育て支援」	保育のデザインアドバンス	R7.10.2
黒木直子	キャリアアップ研修「幼児教育」	保育のデザインアドバンス	R7.11.11
落合美香	幼保連携・接続研修	一般財団法人 保健福祉復興財団	R7.11.21
落合美香	保育の質を高める為のマネジメント	宮崎県保育連盟連合会 認定こども園部会	R7.11.26
日高梨花	保育の質を高める為のマネジメント	宮崎県保育連盟連合会 認定こども園部会	R7.11.26
長友麻未	キャリアアップ研修「マネジメント」	保育のデザインアドバンス	R7.12.9
青木 優里	キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」	保育のデザインアドバンス	R7.12.16
落合美香	キャリアアップ研修「障害児保育」	保育のデザインアドバンス	R7.12.18
日高梨花	キャリアアップ研修「マネジメント」	保育のデザインアドバンス	R8.1.6
竹下悦世	キャリアアップ研修「マネジメント」	保育のデザインアドバンス	R8.1.8
濱 敦子	清武みどり幼稚園 公開保育	清武みどり幼稚園	R8.1.16
竹下悦世	宮崎県認定こども園質の向上研修会	宮崎県認定こども園協会	R8.2.21
濱 敦子	宮崎県認定こども園質の向上研修会	宮崎県認定こども園協会	R8.2.21
赤澤千三代	令和7年度制度改正のおさらい「加算・処遇改善について」	チャイルド社	R8.3.11